

四季
だより

こ し ん だ だ

秋号

2017
VOL.08

Contents [目次]

カマチグループ医療連携会	2P
関東カマチグループ 合同学術研究大会	3P
電子カルテ導入	3P
医師コラム	4P
看護部だより	5P
リハビリテーション科だより	5P
ロシアのリハビリ病院視察団来訪	6P
e-ラーニングシステムによる 個人情報保護研修会	6P
院内旅行報告	7P
医療連携室より アクセス	8P



バルーンアート作成者
医事課 山崎 清佳



第3回 カマチグループ 医療連携会 2017.9.12



平成29年9月12日(火)に、「第3回カマチグループ医療連携会」を、今年も医師会・急性期病院・療養病院・介護施設・居宅サービス事業所など、日ごろより大変お世話になっている皆様方をお呼びして、帝国ホテルにて開催いたしました。

第一部の富士の間では、昨年に引き続きカマチグループ病院実績報告と、今年の大きなトピックスとして、10月に東京都江東区北砂に開院した江東リハビリテーション病院の紹介、千葉地区病院報告、新久喜総合病院報告、五反田リハビリテーション病院報告をさせていただきました。

また、特別講演として女優の河合美智子さんご夫妻をお招きし、実際にご入院いただいた原宿リハビリテーション病院の鏡原先生と、対談形式でご自身の体験をご講演いただきました。

第二部の孔雀の間では、大懇親会を設けさせていただき、当グループ会長・蒲池真澄からのご挨拶、ご来賓の方々からのご挨拶に続き、歓談の場でご列席いただきました皆様と交流を図らせていただくことができました。

今後も皆様方と益々連携を深め、当グループが地域に貢献できるよう、より精進を深めてまいりたいと存じます。行き届かぬ点多々あったとは存じますが、ご列席いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

関東カマチグループ医療連携会実行委員

第9回 関東カマチグループ合同学術研究大会

平成29年9月30日(土)、埼玉県久喜市の久喜総合文化会館にて第9回関東カマチグループ合同学術研究大会を開催しました。今回は「転倒・転落」のテーマが決められており、各病院より合計13演題、特別講演2題の計15演題の発表がありました。

五反田リハビリテーション病院からはリハビリテーション科中村大地氏より、「転倒転落に対する取り組み～ステッカーの有用性について～」の発表させていただきました。

カマチグループではリハビリ医療の提供はもちろんですが、その医療の質の向上のために研究及びそのデータの蓄積をしており、各病院間で情報を共有しています。思い込みや特定の人の意見ではなく、データに基づく医療の質の向上を目指します。

総務課 佐藤 明生



電子カルテ 導入

当院では、平成29年9月1日(金)より電子カルテシステムを導入しました。5月より約3ヶ月間毎週委員会を開催し、実際の患者様の入院を想定したシミュレーションを経て導入日を迎えました。

導入当初は様々な不明点や疑問点が出て多少の混乱もありましたが、委員会等で問題点を解決していくことで、現在はかなり習熟して安定した運用となっております。医師や看護師がパソコンに向かう時間が増えましたが、パソコンに動かされるのではなく間違いを減らすための安全なシステムを構築していきたいと思っております。

総務課 小林 透

リハビリテーション医の独り言

副院長 石川卓志



今回はリハビリテーション(以下「リハ」と略します。)治療の中で大きなウェイトを占める「装具療法」について述べます。

装具は読んで字のごとく、身体に装着して損傷部位の固定・保護、機能の代償、体重の支持、変形の矯正等の治療目的に使用されます。

装具はその目的とする機能が最重要なのですが、装着感(フィッティング)や外見により装着・使用を躊躇される患者様も多いことは事実です。

しかしながら、装具をリハ開始早期から適切に使用することで、即時に能力を向上させ、その結果、リハ効果を高めることができるので、装具療法はリハ医療の重要な戦略の一つなのです。

装具の中で最も多く活用されるのが、下肢装具です。膝より上までの物を長下肢装具、膝下の物を短下肢装具と言いますが、患者様の下肢の支持性に応じて使用され、重度麻痺等でほとんど支持性を有してなくても、立位・歩行訓練が実施できます。当院でも訓練室には様々な種類の下肢装具が備品として整備され、訓練に使用されています。しかしながら個々の体形や能力に合わせた装具が常に使用できるわけではなく、必要な方々にはオーダーメイドで個々に作成することをお勧めしています。

装具作成は患者様の同意を得て治療スタッフが話し合っただesignを決定し、医師の処方箋を受け、義肢装具士と言われる国家資格を有した専門職が作成・適合業務に携わります。作成過程は採型(採寸)→仮合わせ→完成を経て通常2週間程度で納品されます。回復期治療で使用される装具は「治療用装具」といって、医療保険が適用され、回復過程に応じて修正が可能なdesignになっています。

回復期の治療が終了し、後遺障害に対応するための装具は、医療保険ではなく更生装具として自治体から給付されます。その場合は肢体不自由の身体障害者手帳の申請を前もってしておく必要があります。

装具パーツも技術の進歩があり歩行の制御も細やかにできるようになって参りました。将来の装具としてはコンピューター制御のパワーアシスト装具も考案されていますが、非常に高価であり、個人の実用にはまだ課題が残っています。

いずれにせよ、当院では適時適切な装具使用、あわせてアフターケアに努めて参ります。

看護部だより



10月 ハロウィン飾り

近年、日本の若者や子供達の間で盛り上がっているハロウィン。もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いのある行事が、現代では民間行事として定着し、祝祭本来の宗教的な意味合いはほとんどなくなっています。カボチャの「ジャック・オー・ランタン」を作って飾ったり、子供達が魔女やお化けに仮装し、日本では仮装パーティーとして楽しんでいる事が多くなってきました。



当院でもハロウィンにちなんだ物を飾り、現代的な秋らしさを表現しました。

木枯らし1号の発表もあり、これから冬に向けていっそう寒くなりますが、患者様はハロウィンの飾りや近隣の紅葉の風景を見て秋を感じております。

9・10階病棟 橋本 昭作

リハビリテーション科だより



自主トレーニング

リハビリテーション科では、活動量の確保や身体・認知機能の向上等を目的にリハビリの時間以外にも患者様に合わせて自主トレーニングを行って頂いております。

リハビリ室でのマシントレーニングや病棟での歩行練習だけではなく、自室のベッド上で行えるストレッチや筋力トレーニング等、患者様に分かり易い



ように自主トレーニングのファイル患者様に合わせて配付しています。また、運動だけではなくリハビリ室には計算問題や迷路、記号探し等の用紙も用意しております。

自主トレーニングを一生懸命行っている患者様を見て、他の患者様のやる気が向上するだけではなく、私達スタッフもより良いリハビリを提供できるよう努力したいと日々感じさせられます。今後もリハビリの介入時間だけではなく、患者様の生活に目を配りながら自主トレーニングを促していきたいと思っております。

リハビリテーション科 渡邊 恵利菜



ロシアのリハビリ病院視察団来訪

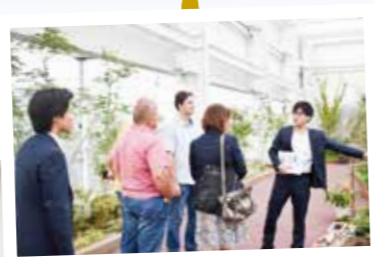
平成29年9月13日(水)、ロシアのリハビリテーション病院整備のため、ロシアの企業の方々が当院を視察訪問されました。

ロシアでは厳寒な地域性と食文化などにより、脳卒中ケアのニーズが非常に高く、特にリハビリテーションが大きな課題となっているそうです。

今回の訪問は東京の代表的なリハビリテーション病院の視察であり、リハビリ室や患者様の病室、屋上のリハビリテーションガーデン等を見学され、当院職員の説明を熱心に聞かれておりました。

当院での視察がロシアのリハビリ医療に少しでもお役に立てれば幸いです。

リハビリテーション科 波多野 崇



院内旅行報告

沖繩かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパに泊まる沖繩フリータイム

平成29年10月4日(水)～6日(金)の間、沖縄本土へ院内旅行に行ってきました。

朝7時頃の飛行機で羽田から那覇空港へ出発し、お昼に到着しました。到着後すぐに車を借りて慶佐次川へ。マングローブ林をカヤックで散策し、大自然に癒されました。翌日はダイビングで青の洞窟へ行く予定でしたが海が荒れていた為、他の場所で潜りました。

青の洞窟こそ行けませんでした。綺麗な海で魚と戯れる事が出来て素晴らしい体験が出来ました。素敵な機会・時間をありがとうございました。

リハビリテーション科 蜂谷 恭平



e-ラーニングシステムによる個人情報保護研修会



平成29年10月31日(火)、個人情報保護法に定められた院内研修会を実施しました。当院で採用している「e-ラーニングシステム」を使用して、オンデマンド講義の形式で実施しました。今回はいつもの身近な業務研修と異なり少し難しい内容もありましたが、基礎的な内容も次回以降で押さえていきたいと考えます。

e-ラーニングシステムは、看護部を中心に看護技術、院内感染、医療安全等の看護実践講義がメインの内容ですが、管理職研修や接遇、今回の個人情報等の全体研修の内容もあり、誰でもいつでも同じ内容を視聴できるし、いつ誰が受講したかの記録が残るので、職員教育の標準化に適した教育システムです。

今後もこの教育システムを活用して職員の資質向上に努めてまいりたいと考えております。

総務課 佐藤 明生

高原リゾート軽井沢 美食とショッピングの旅



台風接近中であいにくの雨でしたが、平成29年10月29日(日)「高原リゾート軽井沢 美食とショッピングの旅」に医療連携室スタッフ5人で行って参りました。

東京駅に9時に集合し、新幹線「あさま」に乗って、軽井沢に1時間ほどで到着しました。

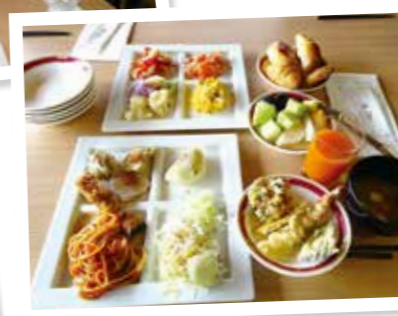


軽井沢プリンスホテル内のレストラン「ポルテ」にて軽井沢の名物 信州そば、五平餅、おやきなどのランチbuffetの昼食を楽しんだ後、旧軽井沢散策に向かいました。手作りハム、ソーセージ、サラミが美味しい腸詰屋と焼き立てパンの浅野屋でお土産を購入し、ミカドコーヒーの軽井沢モカソフトを食べました。

最後に駆け足で、自然豊かなロケーションの中にある軽井沢アウトレットモールへ行きました。

インテリア、雑貨、アウトドアなど約200もの多彩なショップが揃っていて、全部は回り切れませんでした。日々忙しい日常から離れ、みんなで和気あいあい楽しく過ごす事ができました。

医療連携室 宮崎 由紀子



医療連携室だより



カマチグループ
一般社団法人 巨樹の会
監修

「回復期リハビリテーション」
について
詳しいホームページが出来ました!

何をしてくれるの?
どんなところ?
どうして入院型なの?
クリニックでのリハビリと何が違うの?
回復期ってなあに?
私も入院できるの?
対象者って、どんな病気?
保険は使えるの?

スマホ版でも
見やすい!
わかりやすい!



回復期リハビリテーション.net

よりたくさんの方々へ「回復期リハビリテーション」の情報を
もっとご理解いただく事を目的としたサイトです。

<http://kaifukuki.net>

回復期リハビリテーション.net

検索

スマホ版は
こちらから▶



回復期の大事な数字

発症から 2ヵ月以内	入院できる期間 180日最長	1日最大 3時間リハビリ
病棟基準 3段階	スタッフ 9職種	スタッフと患者様 1.5:1
リハビリ実施 365日	在宅復帰率 85%	リハビリ療法 3種類

※ ㊦のマークが付いているものは、カマチグループでの特徴的な数字です。

インターネット環境をお持ちでない方



回復期リハビリテーションとは何か
を知っていただける本も作成して
おります。

未来をみつめる、安心と信頼のケア
カマチグループ巨樹の会
回復期リハビリテーション

下記医療連携室まで
お気軽にお問い合わせくださいませ。

医療連携室 (1階受付) 医療連携室の受付時間
9:00~16:30 (月~土曜日)

☎ 03-3779-8826 (直通)

四季だより

ごんだ
ごんだ

秋号
2017
VOL.08

平成29年12月



一般社団法人 巨樹の会

五反田リハビリテーション病院
広報委員会

〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目8-20
TEL 03-3779-8820 / FAX 03-3779-8823



- 五反田駅 (JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎広小路駅 (東急池上線) 徒歩3分
- 大崎駅 (JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分